

ディスクロージャー誌

統合報告書 2025



株式会社 紀陽銀行

2025年7月発行
経営企画部 広報・IR室
〒640-8656 和歌山市本町1丁目35番地
TEL. 073-426-7133
<https://www.kiyobank.co.jp/>

本冊子は銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料（業務および財産の状況に関する説明書類）です。
本冊子に掲載している諸計数は説明のある場合を除き、金額は原則として単位未満を切り捨てて表示しております。



紀陽フィナンシャルグループ理念体系



当行シンボルマークの由緒

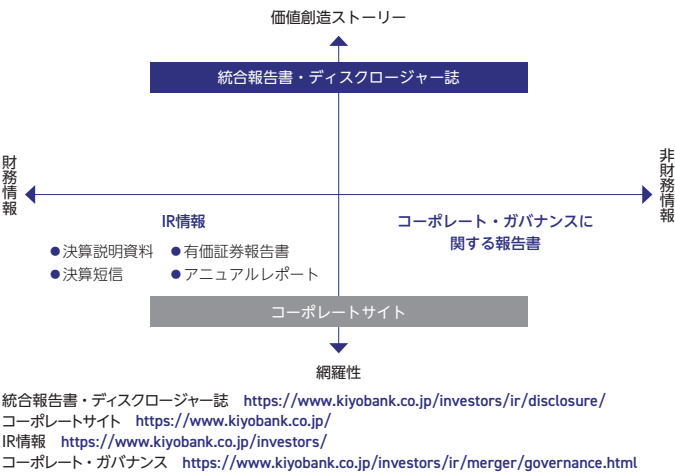
コンセプト

『顔・紀州の太陽』



- シンボルマークは「地域社会の繁栄に貢献し、地域とともに歩む」堅実経営に徹し、たくましく着実な発展をめざすという経営理念をデザイン化したものです。
<デザイナー：祐泉 隆（ゆうせん たかし）氏>
- コンセプトとしては「笑顔」を素材にして、「紀州の太陽」を擬人化し、未来社会に向けて温かいサービスを提供するというイメージを表現しました。
- 顔は太陽、髪はアンテナで情報源、鼻は三日月で宇宙を暗示しています。口は笑顔のハート型で地域のお客さまへの感謝の気持ちを表しています。

統合報告書の位置づけ



統合報告書・ディスクロージャー誌 <https://www.kiyobank.co.jp/investors/ir/disclosure/>
コーポレートサイト <https://www.kiyobank.co.jp/>
IR情報 <https://www.kiyobank.co.jp/investors/>
コーポレート・ガバナンス <https://www.kiyobank.co.jp/investors/ir/merger/governance.html>

CONTENTS

I. 紀陽フィナンシャルグループの価値創造

03 マネジメントメッセージ

03 ■ トップメッセージ



09 ■ 財務担当役員メッセージ



15 価値創造ストーリー

15 ■ 紀陽銀行の歩み

17 ■ 事業基盤

19 ■ 価値創造プロセス

21 ■ サステナビリティ経営

23 ■ マテリアリティ(重要課題)

25 ■ 財務・非財務ハイライト

II. 企業価値向上に向けた取り組み

27 経営戦略

27 ■ 第7次中期経営計画

31 ■ 中小企業分野における取り組み

33 ■ 戦略系グループ会社の取り組み



35 ■ サステナビリティ戦略

37 ■ 特集 スタートアップ支援拠点「Key Site」座談会



41 ■ 株主・投資家とのコミュニケーション

42 ■ 株主還元の充実

43 人的資本経営

43 ■ 人的資本経営の高度化

49 ■ 特集 未来創造室座談会



51 ステークホルダーとの価値共創

52 ■ 創立130周年記念事業

53 ■ 法人のお客さま

55 ■ 個人のお客さま

56 ■ 地域社会

57 環境への取り組み

III. 価値創造を支える経営基盤

62 コーポレート・ガバナンス

62 ■ コーポレート・ガバナンス

69 ■ 特集 社外取締役 ダイバーシティ座談会



73 ■ 役員一覧

75 ■ リスク管理態勢

81 ■ コンプライアンス態勢

83 財務・企業情報

83 ■ 主要財務データ

85 ■ 企業情報

編集方針

紀陽銀行は、すべてのステークホルダーの皆さまに紀陽銀行グループの持続的な価値創造に向けた取り組みについてご理解いただくため、本報告書を作成いたしました。編集にあたっては、国際統合報告評議会（IIRC 現：IFRS財団）が提示する「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイダンス2.0」などを参考にしました。

報告対象期間 2024年4月～2025年3月（一部2025年4月以降～）

見直しに関するご注意

本報告書には将来の業績に関する記述が含まれています。こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、さまざまなリスクや不確実性を内包しています。将来の業績は、経営環境の変化などにより、見直しと異なる可能性があることにご留意ください。